

審議会会議録

会議名称	平成26年度 第1回伊達市立図書館運営協力会		
議 題	(1)平成26年度伊達市立図書館概要について (2)平成26年度予算執行状況について (3)図書館ボランティア活動状況について (4)開館時間延長(試行)実施における現況報告について (5)平成26年度伊達市立図書館運営協力会議題及び開催日程(案)について (6)図書館運営に係る意見交換等		
開催日時	平成26年8月28日(木) 14時00分～15時30分		
場 所	伊達市立図書館 2階 視聴覚室		
出席者	伊達市立図書館運営協力会委員 8名(欠席者2名) 事務局(伊達市教育委員会教育部図書館)		
	所管部課名	伊達市教育委員会教育部図書館	
公開 の 別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	0名
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	
【会議の概要】			
1. 開会			
2. 挨拶 教育部長と会長より挨拶があり、その後議題に沿って議事を進行し、質疑・意見交換を行った。			
3. 会 議			
(1)平成26年度伊達市立図書館概要について(事務局説明) 事務局～資料1として図書館概要について、内容については昨年度詳しくご説明しましたので、今年度についてはかいつまんでご説明します。4ページの事業概要について昨年度とほぼ同じ事業を今年度も計画しております。この他に後程ご依頼しますが、古本の交換会事業を行いたいと考えているところがございますが、まだ計画段階なので記載してはおりません。地域文庫事業については今年度に入りまして新たに大滝にほのぼの団地地域文庫を開設しました。ほのぼの団地は高齢者向け住宅で、生活支援員が常駐している部屋に文庫を設置しました。市内各地域にかなり開設されてきた形ですが、この他にも状況によっては文庫を配置していきたいと思っています。ブックスタート事業は、昨年度まではブックスタートステップだけを図書館事業として執行していましたが、今年度から1歳児・2歳児すべてブックスタート事業として図書館に移管されているところであります。主だったところはそういう事業の内容でございます。 続きまして、5ページの蔵書・利用の状況ということでご説明したいと思います。利用者数、貸出冊数に関しまして、平成25年度については24年度に比べて若干の伸びがございます。利用者数につきましては、約800名、貸出数は約2,000冊伸びています。あと、こういう時代ですのでインターネットを使った貸出予約・館内OPACを使った貸出予約については前年と比べて1,500件ほど伸びています。6ページについてはそれほど大きな違いはないので、前年度と比較していただき、あと事業内容についてもいろんな機会を捉えて図書館にご質問・ご意見をいただきたいと思っております。 以上で概要のご説明は終わりにしたいと思います。			

会 長～ありがとうございます。前年度のお話を含め説明していただきましたが何かございますか。ないようなので2番目の予算執行状況について説明をお願いします。

(2) 平成26年度予算執行状況について（事務局説明）

事務局～資料は付けておりませんが、口頭でご説明したいと思います。主だった予算としては、図書館の多目的トイレがアコーディオンカーテンで鍵をかけられない状態だったので、26年度予算要求をし通ったことから今年度に入り早々に改修しました。そういうことで多くの利用者に使っていただいております。もう1件大きなところといたしましては、テーブルが昭和55年建設時に購入したものですから重く古くて痛んでおり危険性もありまして、新規に10本、15万円ほどかけて購入しております。主だった予算については執行済みということでございます。ちなみに来年度予算については、11月末までに要望を出すこととなりますので、皆様方からもお気づきの点がありましたら、お話をいただければと思っています。以上です。

会 長～事務局からお話があった中で、特に予算要望的なことがありましたらということですので、何かありましたら(6)図書館運営に係る意見交換等の中で出していただきたいと思います。

委 員～トイレは、いくらぐらいかかったんですか。

事務局～約13万円です。中から簡単にロックができます。

会 長～特になければ次、お願いします。

(3) 図書館ボランティア活動状況について（事務局説明）

事務局～図書館ボランティアの募集を昨年度後半から行ってございまして、1つは返却された本を元のところに配架し直してもらおうボランティア、もう1つは傷んだ本を修繕してもらおうボランティアということで募集をかけました。今年度に入りまして、本の配架については4月から男性の方1名が来てくれております。火、木、金と週に3回、時間帯といたしましては開館時間が10時からですので9時40分くらいから来ていただいて、本の整理をしていただいて開館に備えております。開館しましたら本がどんどん返却されるので、それも配架し直していただくというお手伝いをしていただいております。また本棚を見ながら本当はここにあるものじゃないという本を正しい所に戻すという作業もしていただいております。

本の修繕の方ですが、先月7月から女性の方1名が週に2回、火曜日と金曜日の午前中に来ていただいております。すごく手先が器用な方で丁寧にやっただいております。修繕の実績としましてはもう70冊くらいになります。現在もう1名問い合わせがありまして、その方についても来ていただければ力になると思っております。現状は2名で図書館ボランティアの活動をしていただいております。以上です。

会 長～図書館ボランティア活動につきまして何かございますか。修繕の方は元々技術をお持ちの方ですか。よそのところで本の修繕講習会をやっていると聞いたことがある。

事務局～経験はないのですが、このような作業が好きで、手先が器用でいいいな方です。

会 長～よろしいでしょうか。次お願いします。

(4) 開館時間延長（試行）実施における現況報告について（事務局説明）

事務局～資料2ということでお手元にある資料をご覧ください。午後6時現在在館者数、午後6時以降来館者数、午後7時現在在館者数、午後6時以降貸出冊数の数字を記

録しています。6月は6時現在の在館者1日平均9.16人、この人達以外の6時以降に来た方が平均6.05人。6時現在残っていた方と6時以降に来た方の中で7時現在残っている方が2.05人。最後に6時以降の貸出冊数が38.32冊ということになっています。7月が裏面、8月につきましてはおとついまでの数字、9月の一番下が6月からおとついまでの平均で、6時の在館者7.97人で5.77人来て、7時現在残っているのが1人です。夏休みは日が長いし結構来られるのではと思っていたんですが、数字的にはそれほど変わらなかったという結果です。窓口の司書に状況を聞いたところ、“今まで6時閉館前に急いで来ていた人が、1時間余裕ができて6～7時に来ている。同じ顔ぶれで、今まで仕事の都合で来られなかった人が新規に来て例はほとんどない。”とのことで、今現在はこういう状況です。

会 長～延長した結果、かかる費用と効果の関係をどうみるか。延長していること自体を皆さんに認識していただくのはなかなか難しいことですね。

委 員～私もいろんな人に聞いてみたが、7時までの1時間延長では短すぎるという声を聞いているんですよ。仕事が6時、6時半に終わる人が結構街の中には、いらっしゃって、1時間や30分図書館にいても何もできない。延長して良かったねというよりそういう声が多かったですね。

委 員～7時まで延長するというお知らせは広報くらいですか。

事務局～お知らせは広報誌と新聞、FMびゅー、図書館の色々なチラシ、館内の掲示、市のホームページです。

委 員～あとは口コミですね。

会 長～図書館としてせっかく色々やってもPRの方法がどうなんだろうというのは前々から出ている問題で、ただ、色々な手段を使ってやっているんだけど、ところが私も図書館関係以外に民児協委員や自治会役員になってPRをした時に広報誌を見るようになったが、それ以前は毎月来ているものをほとんど見ていなかった。PR活動は一生懸命やっても、見る方は一方的に見るだけで強制的に見せるわけにはいかないから難しい。だからなかなか効果は出ないのかなと思う。図書館としては、それなりの努力はしているんだと思う。

委 員～私は井戸端会議で、図書館の時間延長やボランティア募集の話をしています。そういう会話が大事だと思う。

事務局～延長を始める前に北海道新聞と室蘭民報に記事として流してもらい、7月6日には室蘭民報が再度PRしてくれましたが、状況は変わりません。

委 員～図書館利用者で時間がない人はバタバタと入って出ていく。玄関に入った瞬間に時間延長の大きい表示があると効果があると思う。カウンターにあるチラシを手にとって見る余裕がない人もいる。あと小中学校に、延長するのでぜひ来てくださいというような案内は出されましたか。

事務局～学校の方には出していないです。

委 員～それを出していれば少しは違っていたと思います。

委 員～夜、小学生は保護者同伴でないとならない。お母さんが食事の支度を終わって時間があればちょっと行ってみようかとなるのは難しい。短期的に、ちょっとやってみただけだめじゃないかではなくて、もう少し長期的に考えるべきではないでしょうか。高校生がバスを待つ間、図書館に寄るかとなるくらいになってほしい。

事務局～図書館は街から離れていて、今の時代子供だけで行動するにしても、この近辺も不審者が出没することもあり、夕方が暗くなる時に子供に積極的に時間延長は言いづらいということがあります。

委 員～最寄りのバス停は伊達高ですか。バス停を近くにつくってもらって時間待ちに利用してもらったら良い。

会 長～ハードの面で新しいものができれば良いが、今の状況の中ではなかなか難しいものがある。それなりの努力をしていただき、ご苦労様です。

(5) 平成26年度伊達市立図書館運営協力会議議題及び開催日程（案）について

事務局～資料3ということで議題と日程について、（案）としてお示ししています。

議題につきましては、平成19年度からいろんな提言をいただき、実施しているもの、まだ手がつけられないものに分けてみました。議題についてはこういったものが参考になるのかなというのが1つと、もしどこかの図書館を視察に行きたいとなったらということで前回、前々回の先進地視察をつけさせていただきました。視察は市バスを使用することとなりますので日程調整が出てきます。この辺も参考にしていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

会 長～今後の日程について今までの内容もまとめていただきました。第2回が9月30日、第3回が10月30日、3回目辺りがバスの関係もあるんですが視察等はどうでしょうかということでお話がありました。日程的には事務局から改めて連絡があるかと思います。第4回が12月18日ということで押さえていただければと思います。その中で特に視察に関してご意見をいただこうかと。視察を前にやったのは何年ですか。

事務局～直近が平成22年10月です。

会 長～行くとなると一日日程となる。函館方面に新しい図書館があるということで、函館あたりがどうか。市バスがいつ空いているかが大きな要素になりますが。希望としては2～3回目の会議日とバスの都合等を考えて、事務局で検討していただくということでよろしいですね。

事務局～バスの日程によりますが、10月くらいの第2回か第3回になるか分かりませんが日程調整をしてみたいと思います。バスの空いている日がわかりましたら個別に連絡し、みなさんのご都合をお聞きしたいと思います。場合によっては全員が揃わないということも出てくるかも知れません。もう1点、伺った先でどういう事業をやっているかということは1、2時間ではなかなか詳しいことはわからないということがあります。今回は施設・設備の機能に絞って見てくるということであれば、ものすごく参考になると思います。先方の事業等の説明を聞いただけでは、それをそのまま伊達に持ってくるわけにもいかないので、事務局の提案といたしましては、施設・設備に絞って説明を受けて見てくる方がいいのではと思いますが、いかがでしょうか。

委 員～伊達の図書館にとって将来いい方向に行くような設備だとかをきちっと見るということですね。事業はそれぞれの図書館の今までのことがあるわけだから。

会 長～函館は民営化というか委託事業にしているんですか。

事務局～一部カウンター業務をTRC（図書館流通センター）に委託しているようです。平成27年度には指定管理を導入予定とのこと。ちなみに苫小牧は今年度4月に指定管理を導入しており、やはりTRC苫小牧グループということ。今道内の市では千歳、釧路、留萌、苫小牧の4つと函館が予定されており、町では大空町、栗山町等4町になります。北海道では以上が指定管理です。

委 員～伊達もいずれそうなるんでしょうか。

事務局～それは市民のみなさんの考え方だと思います。

会 長～困みに運営協力会で1度テーマとして話し合ったことがあって、運営協力会としては図書館の貸出業務というのは単なる貸本屋ではないのだから、そういう形ではなくてやっていただきたいというのを意見として申し上げた。機会があれば改めて話をしたい。

委 員～運営方法について、果たして行って見学させていただいていいものでしょうか。

事務局～相手方に打診するにあたって事業内容を聞きたいか、施設、設備の案内をして欲しいかというので違いが出てきますので。

会 長～方法として事前に聞きたいことをお知らせしてもいいと思う。その場に行ってお話するのは難しい。主には我々が行って事務局の言うとおりの施設設備を見

せてもらうが、その中で運営のことについても触れていただくことはある程度可能かと思う。基本姿勢としては事務局の言うとおりが、我々の頭の中の準備では指定管理ではどうなんだろうと見てくればいいのか。

日程についてはこのような形でよろしいでしょうか。

事務局～第2, 3回めは視察により日程が流動するが、4回目は確定することでよろしいでしょうか。

会 長～基本的にはよろしいと思います。

(6) 図書館運営に係る意見交換等

会 長～図書館運営に係る意見等について何か要望等があれば出していただきたい。これについては2回目、3回目の中でもまたやっていきたいと思えます。よろしいですか。なければ次に、その他ということで、事務局の方から依頼があります。

4. その他

(1) 伊達市立図書館事業への協力依頼について（事務局説明）

① 「平成26年度伊達市小中学生読書感想文感想画」事業における読書感想文審査員の依頼について

事務局～現在、伊達市小中学生読書感想文感想画事業を継続して41回やっております。これを実施するに当たりまして現在、現役の先生方に読書感想文の審査員をお願いしているところでございます。作品の提出から審査まですべて先生方をお願いしているものですから、先生方は他にも仕事が沢山あり、大変だとのことで何とか審査員からはずしてもらえないだろうかという声は何年か前から強くなって来ておりました。昨年度それを受けまして退職された先生方に審査員になっていただけないかと打診したところですが、そのときは全く反応がなく、今年度は何とかしなければということで取り組んでいるものです。資料4をご覧ください。平成25年度に実施した日程と平成26年度の実施日程計画を書いております。平成25年度までが今までやってきた方法です。先生方に作品を出してもらって、審査会を開いて最終的に入賞作品を決めていただくということを、年をまたいで先生方に集まっていたというところでございます。今年度その部分を大幅に変えようということで計画いたしました。今現在1次審査は引き続き現役の先生にやっていただき、ただし図書館に来るのではなくて手元で作品を読んで点数をつけていただいて図書館に送り返していただきます。手の空いたときに読んで審査していただければいいですよということです。点数が集まりましたら2次審査以降を現職の先生以外の方達で審査会を組もうということで計画したところでございます。現在個別に審査員を依頼したところ、退職された先生5名の方から手伝いの了承をいただいております。それと図書館職員2名の計7名の第2次審査員がおります。さらに運営協力会の中で手伝ってもいいという方がおりましたら是非お願いしたいということでございます。目標としては5名ほどなんですけれども、協力会の委員さんに限らず、例えば母集団の方で入っていただける方がいればお願いしたいと思っております。去年までは小学生については2学年ずつ持ってもらって、作品を読む数が多く26, 7の作品を読まなくてはならなかったのです。中学生についてはもっと多いです。そこで今年度、2次審査をどのようにするかというと、1次審査で点数をつけて戻してもらったものの内上位4作品、点数の高い順に選びまして、2学年ずつですので8～10作品くらいを読んで点数をつけていただくこととなります。最終的には1次審査の点数と2次審査の点数をもって、いろいろ話し合っていた上で最優秀・優秀・優良の4作品を決定していただくという作業となります。2次審

査員の数的には12名が集まれば一人8～10作品で済むことになります。ぜひ5名ほどお願いしたいと思います。今ここで返事をくださいということではなく、審査会は12月に入ってから一度集まっていたいで、審査のやり方、評価の仕方をご説明します。私も審査は素人ですので素人目線で選んでいただいで構わないと思っています。審査会では前段ご説明しまして作品を持ち帰り審査して点数をつけてもう一度お集まりいただくということで考えておりました。返事は後日で結構ですので、よろしくお願ひいたします。

会 長～現在、運営協力会委員として出てもらっている方だけでなく、母集団のグループの中で推薦してもらってもいいということですね。

事務局～現在7名ですので、この人数ですと持つ学年が増えて読む量が多くなり負担がかかってしまうので、少なくとも12名欲しいなというところです。

委 員～上位4作品ということですが、小学校から応募は何件くらいありますか。

事務局～今までの例で言いますと、全市で1学年13から14点です。

委 員～学校で選抜すると主観的になってしまうのではないかと思います。学校で上位を決めると点数が主観と関係なくなってしまうので、同じ30点でも意味が違ってくるのではないか。

事務局～学校から出てきた段階で入選という形をとります。小学校は各クラスで、中学校については学年で出てきます。なお先生が甲乙つけがたいということであれば2点出してとお願いしています。今までは強制ではなかったのですが、先生によっては評価するには全部の子供に書かせるということをしていたので、先生がそれを全部読まなくてはならず、それを図書館に出した後、さらにそれを審査するというので本当に負担が大きかったと思いますが、今回は自由応募に切り替えまして、本当に書きたいという子だけに書かせてくださいと。その中から先生が選んで出してくださいというふうにしましたので、その部分の負担は軽減されると思います。

委 員～私は前の街でやってきたんですけれど、3～4人で回し読みし、1、2年生はかなり読みづらいので必ず議論しますので、かなり時間がかかった。

事務局～回し読みではなく、審査員の人数分コピーして事前に先生に渡します。先生方には自分の主観で点数を付けてもらいます。2次審査は小学校低学年、中学年、高学年、中学校の4部門で3人ずつ配置したいなと考えていますので、それで12人が必要になります。上位4作品を渡して読んでもらった後、1月に集まっていたいで点数を集計し、1次審査の点数を参考に話し合いをしていただき、点数の高い人が最優秀ではなくて、そこは話し合って決めていただきたいと考えています。

会 長～そうすると2次審査を担当した人達が集まって、話し合っていたいただくということですね。

事務局～今予定しているのは各部門3人ずつで話し合っていたideきたいと思っています。今までは現役の先生にここまでお願いしていたので先生方は疲弊してしまいで、何とかしてくれということに改めました。ゆくゆくは1次審査も現役の先生の手を離してあげたい。私も係長も素人ですが、素人目線で評価してもいいのではという校長会の先生方の声もありましたので。この方法につきましては7月2日に検討会を開き各学校の先生の方の了承をいただいでおります。

会 長～各学校の読書感想文審査の係を出してもらって話し合って、こういうふうにやっいでいこうということになったということですね。素人が最初からやるとなると自信はないけれど、1次審査を経てあがってきたものを、最終的に素人が見てもいいものはいいいということはいいいと思うんですがね。

事務局～低学年は読みづらいいかなと思いますが、1次審査で上位4作品に先生方が絞ってくれますので、読みづらいい作品はそれ程あがってこないのではと思っています。

委 員～各学校が了承しているので、引き受けてくれるということですね。

事務局～協力会委員以外で、やってもいいという人がいた場合は11月末位までに図書館へ直接ご連絡をいただき、その際は今の話を図書館の方でご説明いたします。また退職教員にも個別にもっとあたってみたいと思います。

委員～持ち帰り検討します。

委員～お手伝いします。全然何もわからないのですが、それでも良ければ。

②「古本交換会」事業における運営員の依頼について

会長～②に入ります。古本交換市について説明をお願いします。

事務局～主旨としましては、市民が本を買って1回読んだらもう読まないという本が眠っているものがあるのではと思っています。それをいただいて図書館資料に出来るもの、図書館の副本に出来るもの、また地域文庫に回していけるもの等に活用したいと考えております。図書館に、ある市民からいつも1度読んだ本を1回当たり約2万円相当分を寄贈してくださる方がいて殆ど新品なんですね。そういう方が他にもいるのではないだろうかというのが1つ。もう1つは郷土資料・地域情報資料のお宝が眠っているのではないかとということです。いろんな貴重な資料は所有者がいずれ亡くなるわけですから、例えば図書館であれば少しでも長く保管してもらったり出来るのではないかと考えてくださっている方が図書館に運び入れてくれるのではないかと、この2点です。図書館で必要なものを頂き、残ったものと現在図書館で所有しているが市民に還元してもいい資料を併せて市民に持ち帰っていただきたいというものです。交換会と言っても、当日本を持ってこない人でも持ち帰れるようにしたいと思っています。具体的な日程は、11月15日（土）、16日（日）に市民にオープンにして持っていただきます。その1週間から10日前にかけて図書を運び入れてもらおうと考えています。具体的にお手伝いいただきたい内容ですが、場所は視聴覚室を考えていますので、図書の集まった状況にもよりますが、例えば1人5冊ということにすると何十冊も持って帰られると困るので、誰かが付いているようにしたいと思っています。市民のことを考え土日に交換会を開催します。土日は職員も手薄になるということもございます。例えば2人ずつ午前・午後で配置、お手伝いいただきたいということで、よろしくをお願いします。

会長～できるかぎりお手伝いをいただきたい。協力会の第2、第3回で具体的な話になるかと思う。

事務局～職員もちよくちよく見回りに来ます。今考えているのは、土曜日は10時～18時、日曜日は10～15時ですが未定です。休憩するコーナーを設けて、何か飲んでもらいながら、ということも考えていました。

会長～基本的にできる範囲内で協力をしたいということで。今日の話合いはこんなところですが、他に何かございますか。ないようなので確認します。今年度も協力会を4回行いたいと思います。視察は2回目か3回目で予定をしていただいて、函館方面を視野に入れて考える。事務局からの依頼事項としては感想文の審査員と古本交換会を、できる範囲内でお手伝いしたいと。よろしいですか。

事務局～よろしくをお願いします。

会長～以上で終了します。